技術・家庭科学習指導案

題材名：一歩進め、アルゴリズム更新！

授業日時　令和３年11月９日（火）第２校時
授業学級　２年Ｂ組
授業会場　コンピュータ室
授 業 者
指 導 者

（全14時間扱い中　第１時）

(1) ねらい

双方向性のあるコンテンツの特徴について理解することができる。

(2) 授業のポイント

・場面：ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツについての特徴を理解する。

・活動：ネットワークを利用した双方向性があるコンテンツを通して今後どのように活かせるのかを考える活動

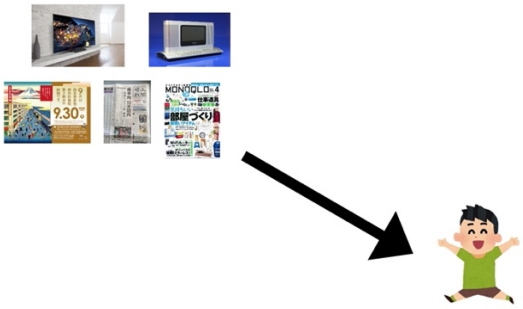
(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	１．情報収集を行うコンテンツはどのようなものが考えられるか知る。	○「情報を収集するとき、どんなもので収集するの？」 ◇ 双方向性のあるコンテンツだけでなく、一方向性のコンテンツについても取り上げる。	15
	【学習問題】双方向性のあるコンテンツはどのようなものだろうか。		
	２． 双方向性、一方向のあるコンテンツについてそれぞれの性質を確認する。	○「今の双方向性コンテンツが沢山生まれる時代に一方向性のあるコンテンツが必要な理由を考えてみよう。」	
	【学習課題】双方向性があるコンテンツを通してその仕組みを知ろう。		
展開	３．自動応答サービスを実際に使用し、双方向性のあるコンテンツがどのような仕組みで動いているのかを考える。	○「Siri は使ったことがありますか？天気についても今日の自分の運勢についても教えてくれます。」 ◇Siri については天気、調べごと、リマインダ、占いができるということを取り上げる。 ★Siri	10
	４．Siri、アキネーターの仕組みを理解する。	○「どのような仕組みで動いていると思いますか。」 ◇Siri やアキネーターはデータベースに登録された情報を元にして運用されていて、クライアントからの呼びかけに対して関連度の高い情報を返すことを説明する。	20
		【評価】双方向性の仕組みについて理解している。	
終末	５．感想の記入	○「双方向性とはどのような特徴でしたか？また、双方向性のあるコンテンツはどのように今後生きると思いますか？」	5
	６．チャットボット Pro について知る	○「次回, 双方向性のあるコンテンツを作ることができるチャットボット Pro というものを使っていきます。」	

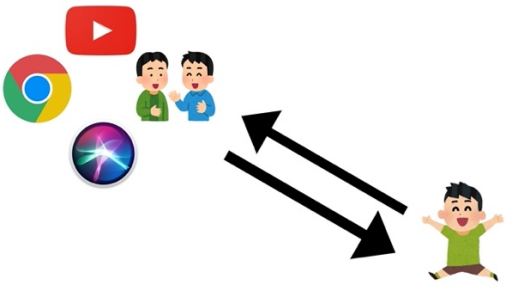
情報に関する技術①

「双方向性のあるコンテンツについて考えよう」

組　　名前:



のコンテンツ



のあるコンテンツ

違いはなんだろう？

双方向性のあるコンテンツとして、アキネータや Siri の仕組みを使いながら考えてみよう。

仕組みはどうなっているのだろうか？

今日学んだことはどんなことだろう？今後どのように活かせるだろう。

発問計画

好きなものとかニュースについて知りたいときに何で知る？

スマホ、YouTube、雑誌、会話

・板書して切り分ける

・PowerPoint で、「この違いは何？」　　-グループワーク/発表

・テレビやラジオの仕組みは電波を受信して切り替えること、それでは Siri や Youtube、chrome はどのように動いているのだろう？

・【学習問題】「双方向性のあるコンテンツはどのようなものだろうか？」

・一方向のコンテンツ、双方向のコンテンツはどちらが便利？

・一方向のコンテンツは使わない？

・じゃあテレビとかラジオはもうこれ以降の世の中には必要ないの？

・それぞれ必要な理由はなんだろう？

・双方向性のあるコンテンツはどのような仕組みをしているの？

【学習課題】双方向性があるコンテンツを通してその仕組みを知ろう。

・一度使ってみましょう(Siri)

・Siri はどのような仕組みをしているのか考えてみよう

・アキネーター　　-グループワーク

　　中に人入っているの？

　　どこでも使えるの？

・発表

・Siri の仕組みの説明